



【進路指導・受験生への応援メッセージ】サクラ咲けプロジェクト

3年生の進学希望者は、1月13(土)、14(日)実施される大学共通テストや、私立大学が実施する個別試験などを控えています。3年生教室前には、先生方から3年生に向けた応援メッセージが掲示されました。メッセージの一部を紹介をします(一部抜粋・加筆修正)。

「君たちなら必ずできる」、「やってきたことを信じ、頑張って、絶対大丈夫」、「試験の直前まで伸びしろはある。自分を信じて」、「今までの努力は、絶対むだにならない」、「自分を信じて1点でも多く取るため目の前の問題に取り組んで」、「夢や目標を追いかけ、最後の最後まであきらめずに頑張る」、「毎日積み重ねて頑張ってきた姿を見ている。迷わず突き進め」、「最後まで希望を持ち、あきらめない」



【根室高校 演劇部】根室の未来を考えるR5子ども会議での活躍



12月25日(月)、標記の会議が行われました。根室市内小中学校の児童生徒が集まり、いじめの根絶など児童生徒が主体的に考える場を通して、課題を解決する力を高め、各学校の取組につなげる目的で毎年開催されています。今回は、「インクルーシブ」をキーワードに、①インクルーシブとは、②インクルーシブの社会とは、③根高演劇部の演劇から考えたこと、④インクルーシブのまとめを付箋紙に書き、模造紙に貼りながら各班や全体で意見交流をしました。

演劇部のインクルーシブに係る演劇内容は、障がい、性的マイノリティー、国籍など多様性や共生などを含むものでした。この演劇を通して、児童生徒はインクルーシブについて理解を深める機会となりました。演劇部の部員達は市教委の方と事前打ち合わせやテーマに基づく内容の検討をすすめ、2～3週間前から本格的に稽古を続けてきました。演劇を見た児童生徒達からは、相手を尊重したり、手を差し伸べる必要性について理解が深まったとの感想があげられていました。本校の演劇部はこの活動を5年間継続しており、この会には欠かせない存在となっています。

演劇部の皆さんありがとうございました。

【 同好会・北方領土根室研究会 】 北方領土に関する根室管内高校生係るコラボ出前講座

12月21日(木)、根室振興局で北方領土に関する根室管内高校生「コラボ出前講座」が開催されました。

この活動は、根室振興局と根室教育局の協力・支援を得て行われる北方領土返還運動の拠点である根室での高校生による活動（名称：北方領土プロジェクトN）です。今回の活動は、根室高校の同好会（北方領土根室研究会）の部活動(Bukatsu)の支援等を通じた広域的(Broad area)な返還要求運動やふるさと教育の強化(Boost)とする活動（名称：Bタスク）です。

この日は、根室高校3名と中標津農業高校1名の生徒による北方領土に関するコラボ講座の実施です。振興局職員、千島歯舞諸島居住者連盟の元島民など60名の参加がありました。講座では江戸時代に作成された北方領土の地図、1951年サンフランシスコ平和条約の締結内容、安藤石典元市長などの返還要求運動などが紹介されました。また、根室管内と北方領土の面積の比較などクイズ形式での出題もあり、北方領土への興味・関心を高める内容でした。講座に参加した元島民の方からは、「元島民は自分が経験したことを語ることはできるが、高校生など若者世代が北方領土に係る歴史的経緯や背景をしっかりと伝えてくれる活動はありがたい。」との高い評価をいただきました。

今回、講師を務めた中標津農業高校の生徒からは、「北方領土の知識が増えるとともに、人前で発表する力もついた」との取り組み後の自身の変容を感じ取っていました。

根室高校の北方領土根室研究会の部員の活躍が多くの方々を巻き込みながら、北方領土返還要求運動の裾野の拡大、ついては、ふるさと教育の強化に繋がっていることを実感できる時間を過ごしました。北方領土根室研究会の部員の皆さんに感謝します。



【 商業科・事務情報科 】 令和5年度3年次販売実習 4年ぶりの開催（周知）

令和6年1月19日(金)、本校の商業科・事務情報科 3年次の販売実習がたんちょう釧路空港で開催されます。ここ数年間、コロナ禍のため、この活動は中止されており、4年ぶりの販売実習となります。

今回、販売する開発商品は、根室菓舎Hayakawaさんの全面的なバックアップのもと、試作が繰り返され商品化されました。その名は、ロールケーキ「サイロール」です。根室の明治公園にあるサイロをイメージして作られたものです。販売価格は650円（予定）しています。

販売時刻は9時30分から14時30分を予定しています。根室高校商業科・事務情報科の課題研究の活動の成果、さらに、根室の美味しいお菓子の知名度をアップを図ります。